

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【ラオス】

担当講師	稲川 文夫 （SESPP事務局技術顧問）
実施期間	2026 年 9 月 14（月）～ 9 月 18 日（金）
実施場所	ラオス技能開発院（Skills Development Institute：SDI）
研 修	技能評価トライアル（SET）・評価者認定（SAC）
実施職種	機械検査 3 級

2026 年 10 月

結果概要

1. 対象者数：SET 評価者 7 名
 評価者認定対象者 5 名 / 評価者認定合格者数 3 名
 受検者数 9 名 / 合格者数 0 名

2. 日程

日時	実施内容
9 月 14 日（月） 8:35～16:50	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 (1) 開講式：司会進行 Mr.Inthavone、機械検査 3 級のこれまでの実施経緯を説明。 挨拶：稲川(SESPP 事務局技術顧問)、Mr. Sourisack(SDI 院長) (2) 研修スケジュール説明 (3) 評価者認定について ・履歴書の書き方 ・認定申請書の書き方 ・評価者職務チェックシートによる自己評価 (4) 実技試験実施方法及び運営上の要点について質問しながら確認 (5) 評価チームの編成と役割分担 (6) 試験用機材のチェック (7) 必要な備品のチェック (8) 学科試験会場及び実技試験会場設営・測定器、機材の配列 (9) 実技試験（作業 1～作業 3）の実施方法を確認
9 月 15 日（火） 8:30～16:40	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 8:30-8:55 開会式・受付 9:00-10:00 学科試験（受検者：9 人） 10:10-12:00 実技試験（午前 受検者：4 人） 13:00-15:05 実技試験（午後 受検者：5 人） 15:15-16:40 正解値の測定、採点作業の準備
9 月 16 日（水） 8:30～16:10	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 (1) 減点表の作成 (2) 実技試験（作業 1～作業 3）の採点作業 (3) 作業態度減点表の集計 (4) 採点・評価、結果とりまとめ ・実技試験結果表及び試験結果表作成 (5) 学科試験にチャレンジ (6) 学科試験問題の解説及び指導上の要点を説明

9 月 17 日（木） 8:30～16:20	(1) 学科試験問題の解説及び指導上の要点を説明（前日からの続き） (2) マイクロメータ、ノギス、シリンダーゲージの使用上の要点を説明 (3) 実技試験作業 1 に関して、正しい測定姿勢のとり方を解説 (4) 三針法によるねじの有効径測定に関して、正しい測定方法を解説 (5) ねじの三要素である①ねじ山の角度、②ピッチ、③有効径の測定方法を解説
9 月 18 日（金） 8:30～14:30	【技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)】 (1) 評価者認定試験 ①測定作業試験（作業 1） ②評価者職務チェックシートに基づくインタビュー (2) 測定器、ゲージ類の保守 (3) 有効径測定に関する式の説明 $E=M-A, \quad A=3dm-0.866025 \times P$ (4) 総括 ・アンケートへの記入

3. 講評

(1)今回の SET は、評価者認定（SAC）と同時並行で進めるため、専門家による指導や指示を可能な限り控えて、評価者のやり方を観察しながら実施した。全員が分担された役割をある程度スムーズにこなせていることを確認できた。正解値の測定作業では、ダブルチェックで測定結果を複数回確認しながら進めていることが確認できた。しかし、全体的に測定技能が低いように感じた。

(2)測定器、ゲージ類の保管方法の重要性について

これまで、多くの国で職業訓練施設を訪問し、錆びついた測定器等を使用している状況をたくさん見てきた。測定器、ゲージ類が錆びつくと精密測定が困難となる。そのため、それらの使用後の保管方法が非常に重要である。機械検査 3 級の実技試験で使用するマイクロメータ、ノギス、シリンダーゲージ、リングゲージ、ブロックゲージ、ねじゲージ、三針、実技試験作業 1 の測定部品について、再度、正しい保管の仕方を説明し、やり方を例示した。その上で、全員で測定器、ゲージ類の表面をよくふき取り、錆が発生しない正しいやり方でそれらを保管した。彼らが測定器等を正しく使い、正しく保管する習慣を身に着けることを期待したい。

(3)評価者認定試験において、測定技能が著しく低い者が 2 名おり、評価者認定の可否の判断を保留した。2027 年 3 月に実施される PPJC の折に、測定演習を実施した後、測定作業試験による SAC を再度実施することを提案する。その際、今回の SET を担当したことによって評価者認定の対象となった 2 名（Mr. Nome、Mr. Sonephet）も、併せて、評価者認定試験を行うことも提案する。

上述のことを SESPP 事務局及び厚生労働省で検討されることを願います。

4. アンケート結果

◆評価者 7 名（回答者 7 人）（※5 段階評価）

満足度：	大変満足＝7 人	
役立ち度：	大変役立つ＝6 人	役立つ＝1 人
評価能力の向上度：	大変向上した＝6 人	向上した＝1 人
継続性：	是非継続すべき＝5 人	継続すべき＝2 人

【改善点・提案】

- ・機械検査職種 2 級の研修実施を希望する。(5)
- ・日本での機械検査 3 級の技能検定プロセスの視察を希望する。(2)
- ・とても良い研修だった。

【意見・感想・実施希望】

- ・電気系職種
- ・機械職種
- ・電気自動車
- ・溶接
- ・自動車整備職種において、自動車部品の分解・組み立てに関する実践的な研修の実施を希望する。
- ・技能評価トライアル(SET)において、自動車及び電気自動車(EV)分野での実施をお願いしたい。

◆受検者 9 名（回答者 9 人）（※5 段階評価）

満足度：	大変満足＝7 人	満足＝2 人
役立ち度：	大変役立つ＝7 人	役立つ＝2 人
継続期待度：	是非とも継続すべき＝8 人	継続すべき＝1 人

【改善点・提案】

- ・本格的な研修に入る前に事前研修を行い、講師の方から機材や材料の説明、および研修の目的についてあらかじめ説明してもらいたい。
- ・機械分野に関連する試験(評価)において、トルクレンチや計測器(電気測定器)など、使用する工具・測定機器のバリエーションをより多様化・拡充していただくことを提案したい。
- ・全て良かった。(3)
- ・もう一度受検したい。

【意見・感想・実施希望】

- ・自動車分野 (5)
- ・二輪車(100cc～125cc)
- ・汎用エンジン
- ・電気分野
- ・調理

◆現地責任者 1 名（回答者 1 人）（※5 段階評価）

継続期待度：	是非継続すべき＝1 人
--------	-------------

【改善点・提案】

- ・ SESPP 事業の成果を民間に拡げていくために支援の継続を希望する。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 溶接